

平成26年

三重県議会定例会会議録

(12月19日)
(第29号)

第29号
12月19日

平成26年

三重県議会定例会会議録

第 29 号

○平成26年12月19日（金曜日）

議事日程（第29号）

平成26年12月19日（金）午前10時開議

- 第 1 議案第158号から議案第203号まで、議案第205号及び議案第206号並びに議提議案第4号
〔委員長報告、討論、採決〕
- 第 2 請願の件
〔採決〕
- 第 3 意見書案第16号及び意見書案第17号
〔採決〕
- 第 4 常任委員会の調査事項に関する報告の件
- 第 5 議案第207号
〔提案説明、採決〕
- 第 6 閉会中の継続審査及び調査の件

会議に付した事件

- 日程第 1 議案第158号から議案第203号まで、議案第205号及び議案第206号並びに議提議案第4号
- 日程第 2 請願の件
- 日程第 3 意見書案第16号及び意見書案第17号
- 日程第 4 常任委員会の調査事項に関する報告の件
- 日程第 5 議案第207号

会議に出欠席の議員氏名

出席議員 49名

1	番	下野	幸助
2	番	田中	智也
3	番	藤根	正典
4	番	小島	智子
5	番	彦坂	公之
6	番	栗野	仁博
7	番	石田	成生
8	番	大久保	孝栄
9	番	東	豊
10	番	中西	勇
11	番	濱井	初男
12	番	吉川	新
13	番	長田	隆尚
14	番	津村	衛
15	番	森野	真治
16	番	水谷	正美
17	番	杉本	熊野
18	番	中村	欣一郎
19	番	小野	欽市
20	番	村林	聡
21	番	小林	正人
22	番	奥野	英介
24	番	今井	智広
25	番	藤田	宜三

26	番	後藤	健一
27	番	辻	三千宣
28	番	笹井	健司
29	番	稲垣	昭義
30	番	北川	裕之
31	番	館	直人
32	番	服部	富男
33	番	津田	健児
34	番	中嶋	年規
35	番	青木	謙順
36	番	中森	博文
37	番	前野	和美
38	番	水谷	隆
39	番	日沖	正信
40	番	前田	剛志
41	番	前橋	裕幸
43	番	三谷	哲央
44	番	中村	進一
45	番	岩田	隆嘉
46	番	貝増	吉郎
47	番	山本	勝巳
48	番	永田	正和
49	番	山本	教行
50	番	西場	信美
51	番	中川	正
(23)	番	欠	員)
(52)	番	欠	員)
(42)	番	欠	番)

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	鳥井隆男
書記(事務局次長)	青木正晴
書記(議事課長)	米田昌司
書記(企画法務課長)	佐々木俊之
書記(議事課課長補佐兼班長)	西塔裕行
書記(議事課主幹)	坂井哲
書記(議事課主幹)	中村晃康

会議に出席した説明員の職氏名

知事	鈴木英敬
副知事	石垣英一
副知事	植田隆
危機管理統括監	渡邊信一郎
防災対策部長	稲垣司
戦略企画部長	竹内望
総務部長	稲垣清文
健康福祉部長	北岡寛之
環境生活部長	高沖芳寿
地域連携部長	水谷一秀
農林水産部長	橋爪彰男
雇用経済部長	廣田恵子
県土整備部長	土井英尚
健康福祉部医療対策局長	佐々木孝治
健康福祉部子ども・家庭局長	西城昭二
環境生活部廃棄物対策局長	渡辺将隆
地域連携部スポーツ推進局長	世古定

地域連携部南部地域活性化局長	森 下 幹 也
雇用経済部観光・国際局長	加 藤 敦 央
企 業 庁 長	小 林 潔
病院事業庁長	大 林 清
会計管理者兼出納局長	中 川 弘 巳
教育委員会委員長	前 田 光 久
教 育 長	山 口 千代己
公安委員会委員長	谷 川 憲 三
警 察 本 部 長	大 賀 眞 一
代表監査委員	福 井 信 行
監査委員事務局長	小 林 源太郎
人事委員会委員長	楠 井 嘉 行
人事委員会事務局長	速 水 恒 夫
選挙管理委員会委員	川 端 康 成
労働委員会事務局長	前 嶌 卓 弥

午前10時0分開議

開 議

○議長（永田正巳） おはようございます。

ただいまから本日の会議を開きます。

諸 報 告

○議長（永田正巳） 日程に入るに先立ち、報告いたします。

付託議案の審査報告書並びに請願審査結果報告書が所管の常任委員長から提出されました。

次に、意見書案第16号及び意見書案第17号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、議案第207号が提出されましたので、さきに配付いたしました。

以上で報告を終わります。

戦略企画雇用経済常任委員会審査報告書

議案番号	件 名
180	三重県個人情報保護条例の一部を改正する条例案

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成26年12月11日

三重県議会議長 永田 正巳 様

戦略企画雇用経済常任委員長 津田 健児

環境生活農林水産常任委員会審査報告書

議案番号	件 名
202	三重県総合文化センターの指定管理者の指定について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成26年12月12日

三重県議会議長 永田 正巳 様

環境生活農林水産常任委員長 小野 欽市

健康福祉病院常任委員会審査報告書

議案番号	件名
176	三重県民生委員定数条例案
177	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例案
178	三重県指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例案
188	三重県児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
189	三重県子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例案
190	認定こども園の認定要件等に関する条例の一部を改正する条例案
200	公立大学法人三重県立看護大学第二期中期目標について
201	三重県聴覚障害者支援センターの指定管理者の指定について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成26年12月9日

三重県議会議長 永田 正巳 様

健康福祉病院常任委員長 濱井 初男

防災県土整備企業常任委員会審査報告書

議案番号	件 名
181	三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案
195	工事請負契約について（一般国道422号（八知山拡幅）道路改良（新八知山トンネル（仮称））工事）
196	工事請負契約について（一般県道亀山安濃線道路改良（鹿島橋橋梁上部）工事）
197	工事請負契約について（中勢沿岸流域下水道（松阪処理区）松阪浄化センター中央監視制御設備改築工事）
198	工事請負契約の変更について（消防救急デジタル無線（共通波）整備工事）
199	工事請負契約の変更について（一般国道260号（南島バイパス）道路改良（2号トンネル（仮称））工事（分-1））

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成26年12月11日

三重県議会議長 永田 正巳 様

防災県土整備企業常任委員長 村林 聡

教育警察常任委員会審査報告書

議案番号	件 名
206	損害賠償の額の決定及び和解について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成26年12月10日

三重県議会議長 永田 正巳 様

教育警察常任委員長 吉川 新

総務地域連携常任委員会審査報告書

議案番号	件名
174	職員の配偶者同行休業に関する条例案
179	三重県スポーツ推進条例案
203	三重県立熊野古道センターの指定管理者の指定について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成26年12月12日

三重県議会議長 永田 正巳 様

総務地域連携常任委員長 栗野 仁博

予算決算常任委員会審査報告書

議案番号	件名
158	平成26年度三重県一般会計補正予算（第5号）
159	平成26年度三重県債管理特別会計補正予算（第1号）
160	平成26年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計補正予算（第1号）
161	平成26年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
162	平成26年度三重県立小児心療センターあすなろ学園事業特別会計補正予算（第1号）

163	平成26年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計補正予算(第1号)
164	平成26年度三重県地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)
165	平成26年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)
166	平成26年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)
167	平成26年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計補正予算(第1号)
168	平成26年度三重県港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)
169	平成26年度三重県流域下水道事業特別会計補正予算(第1号)
170	平成26年度三重県水道事業会計補正予算(第1号)
171	平成26年度三重県工業用水道事業会計補正予算(第2号)
172	平成26年度三重県電気事業会計補正予算(第1号)
173	平成26年度三重県病院事業会計補正予算(第1号)
175	三重県地域医療介護総合確保基金条例案
182	知事及び副知事の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例案
183	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
184	現業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案
185	三重県地域医療再生臨時特例基金条例の一部を改正する条例案
186	三重県手数料条例の一部を改正する条例案
187	三重県県税条例の一部を改正する条例案

191	三重県都市公園条例の一部を改正する条例案
192	公立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
193	県立高等学校等の現業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案
194	当せん金付証券の発売について
205	平成26年度三重県一般会計補正予算（第7号）
議提4	三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

平成26年12月17日

三重県議会議長 永田 正巳 様

予算決算常任委員長 稲垣 昭義

請 願 審 査 結 果 報 告 書

(新 規 分)

健康福祉病院常任委員会関係

受理番号	件 名	提 出 者	紹 介 議 員	審 査 結 果
請54	子ども医療費窓口無料化について	津市観音寺429 13 三重県保険医協会 会長 渡部 泰和	石 田 成 生 森 野 真 治 小 野 欽 市 小 林 正 人 今 井 智 広 藤 田 宜 三 稲 垣 昭 義 青 木 謙 順 中 森 博 文	継 続 審 査

請55	子ども医療費助成制度の対象年齢について	津市観音寺429 13 三重県保険医協会 会長 渡部 泰和	石田成生 大久保孝栄 森野真治 小野欽市 小林正人 藤田宜三 稲垣昭義 青木謙博	継続 審査
-----	---------------------	-------------------------------------	---	----------

環境生活農林水産常任委員会関係

受理 番号	件 名	提 出 者	紹 介 議 員	審 査 結 果
請56	私学助成について	三重県津市上浜町一丁目293番地の4 三重県私立高等学校・ 中学校・小学校保護者 会連合会 会長 前川 賢一 ほか20名	大久保 孝 栄 中 西 正 勇 小 林 智 人 今 井 宜 広 藤 田 宜 三 稲 垣 昭 義 津 田 健 児	採 択

(審 査 中 分)

環境生活農林水産常任委員会関係

受理 番号	件 名	提 出 者	紹 介 議 員	審 査 結 果
請47	三重県残土条例制定を求める件について	伊賀市木興町1064 286 NPO廃棄物問題ネット ワーク三重 代表理事 吉田ミサヲ	粟野仁博 森野真治 岩田隆嘉	継続 審査

意見書案第16号

私学助成の充実を求める意見書案
上記提出する。

平成26年12月12日

提 出 者

環境生活農林水産常任委員長

小 野 欽 市

私学助成の充実を求める意見書案

私立学校は、独自の校風を守りつつ建学の精神に基づく個性豊かで特色ある教育を行い、教育の振興及び発展に寄与している。

しかしながら、私立学校に修学する生徒等の保護者にとって、小学校、中学校及び高等学校における公私間の教育費負担の格差は大きく、とりわけ入学時納付金が高額であり、私立学校の生徒等は大きな経済的負担を強いられているところである。

また、近年における少子化等の影響もあり、私立学校をめぐる経営環境は厳しい状況にある。

よって、国におかれては、私立学校に修学する生徒等の保護者の経済的負担の軽減及び私立学校における経営の健全性向上を図るため、私学助成に係る国庫補助制度を堅持するとともに、経常的経費の助成を更に充実するよう強く要望する。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

三重県議会議長 永 田 正 巳

(提 出 先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

意見書案第17号

障がい者雇用促進に向けた支援制度の拡充を求める意見書案

上記提出する。

平成26年12月17日

提 出 者

障がい者雇用促進調査特別委員長

彦 坂 公 之

障がい者雇用促進に向けた支援制度の拡充を求める意見書案

近年、障がい者の就労意欲は急速に高まっており、障がい者が、その能力と適性に応じた雇用の場に就き、誇りを持って自立した生活を送ることができるよう、国及び地方が一体となって、障がい者の雇用対策を総合的に推進していくことが求められている。

本県においては、平成25年の実雇用率が全国最下位であったことから、三重労働局長と三重県知事が「障害者雇用率改善プラン」を連名で発表し、取組を進めた結果、平成26年の実雇用率は全国平均には届いていないものの、最下位から33位に、また、達成している企業の割合についても全国21位となるなど、障がい者雇用の状況は改善しているところである。

今後、障がい者雇用を更に促進させていくためには、中小企業等も含めた民間企業における雇用支援の充実や障がい者の職域を拡大する人材育成の強化、更には、障がい者の職場定着に向けた支援などを中期的に進めていくことが必要である。

このため、本県議会は、国において、障がい者の雇用を更に推進させていくため、下記の事項に取り組まれるよう強く要望する。

記

- 1 障がい者の雇用を一層促進するため、ジョブコーチ等の企業と障がい者の間に立ち、業務や定着の支援を行う人材の充実・強化を図ること。
- 2 それぞれの障害特性に応じたきめ細やかな支援がなされるよう、地域において就業面と生活面の一体的な相談・支援を行う障害者就業・生活支援セン

ターの更なる充実・強化を図ること。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

三重県議会議長 永田正巳

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

追加提出議案件名

議案第207号 教育委員会委員の選任につき同意を得るについて

委員長報告

○議長（永田正巳） 日程第1、議案第158号から議案第203号まで、議案第205号及び議案第206号並びに議提議案第4号を一括して議題といたします。

本件に関し、所管の常任委員長から順次、委員会における審査の経過と結果について報告を求めます。津田健児戦略企画雇用経済常任委員長。

〔津田健児戦略企画雇用経済常任委員長登壇〕

○戦略企画雇用経済常任委員長（津田健児） 御報告申し上げます。

戦略企画雇用経済常任委員会に審査を付託されました議案第180号三重県個人情報保護条例の一部を改正する条例案につきましては、去る12月11日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会にて特に議論のありました事項について申し述べます。

まず、女性の雇用支援についてであります。

結婚や出産、育児などで離職した女性に対し、本人の就労意欲に沿って再就職を支援することは、女性の社会進出を促進する意味からも極めて重要です。

県当局においてはこれまで、求人・求職ウェブサイトの開設や合同面接会の開催などの取組を進めていますが、再就職を希望する女性を取り巻く厳しい環境について、関係部局で連携を図りながら十分把握した上、適切な支援を推進していただくよう要望します。

次に、三重県広聴広報アクションプラン（最終案）についてであります。

県民との接点の拡大と充実を基本に、新たに展開するプロモーションの取組を通じて、三重県ファンの増加を目指していく中、質の高い広聴広報活動により、本県に対する理解、共感、信頼の獲得が広がり、本県のイメージアップが図られることを期待するところです。

一方で、行政の広報では、防災、福祉、医療など、伝えなければならない情報が県民や事業者等に確実に伝わるのが重要なため、計画の実行に際してはこのような点を十分考慮されるよう、重ねて要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 小野欽市環境生活農林水産常任委員長。

〔小野欽市環境生活農林水産常任委員長登壇〕

○環境生活農林水産常任委員長（小野欽市） 御報告申し上げます。

環境生活農林水産常任委員会に審査を付託されました議案第202号三重県総合文化センターの指定管理者の指定についてにつきましては、去る12月12日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会ですらに議論のありました事項について申し述べます。

農地中間管理事業についてであります。

本年4月からスタートした農地中間管理事業については、一部の地域で農地中間管理機構が中間管理権を取得するなど、徐々に事業の浸透が図られていますが、県内全域を見渡してみると、各地域の取組には温度差が見受けられる状況にあると思われまふ。

今後、事業への取組を加速させていくためには、県内の農業関係者に事業

の内容やモデル事例などについて、周知徹底を図っていくことが重要と考えます。

このため、県当局においては、農地中間管理機構と一体となり、市町や農業委員会など関係機関との密接な連携及び協力のもと、各地域における話し合いや合意形成のより一層の促進に向け、県内の隅々にまでしっかりと情報を伝える徹底した取組を進められるよう要望します。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 濱井初男健康福祉病院常任委員長。

〔濱井初男健康福祉病院常任委員長登壇〕

○健康福祉病院常任委員長（濱井初男） 御報告申し上げます。

健康福祉病院常任委員会に審査を付託されました議案第176号三重県民生委員定数条例案外7件につきましては、去る12月9日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会にて特に議論のありました事項について申し述べます。

三重県青少年健全育成条例の一部改正についてであります。

今回の条例改正により、青少年の定義に6歳未満の乳幼児が追加されるとともに、携帯電話等からインターネット上の有害情報を閲覧する機会をできるだけ少なくするための保護者や携帯電話事業者への義務づけなど、青少年の安全・安心なインターネット利用に向けた内容が追加されることが検討されています。

近年の情報化社会の進展に伴い、安全・安心なインターネット利用環境の整備については、迅速な対応が求められることから、県当局におかれましては、これらの改正がより効果的なものとなるよう、保護者、学校、関係機関等との一層の連携強化などに取り組まれることを要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 村林 聡防災県土整備企業常任委員長。

[村林 聡防災県土整備企業常任委員長登壇]

○防災県土整備企業常任委員長（村林 聡） 御報告申し上げます。

防災県土整備企業常任委員会に審査を付託されました議案第181号三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案外5件につきましては、去る12月9日及び11日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会ですべてに議論のありました事項について申し述べます。

まず、市町における防災・減災対策へのより効果的な支援のあり方及び予算の確保についてであります。

南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づき、国の負担または補助割合の特例などの支援体制が強化された中で、県としても可能な限り市町の負担軽減等を検討していくことが重要であります。

県当局におかれましては、市町が主体的に取り組む防災・減災対策について、より効果的な支援のあり方を検討するとともに、そのための予算を確保、編成されるよう要望します。

次に、建設産業の活性化に資する取組についてであります。

建設業においては若年者の人材確保や育成が課題となっていることから、本県では、若年者の入職促進や人材育成の支援に取り組まれているところです。

県当局におかれましては、公共工事の担い手が中長期的に育成及び確保されるための適正な利潤を現場施工者が確保できるよう、発注者として、公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部改正の趣旨も踏まえた取組を引き続き進めていただくよう要望します。

最後に、多自然川づくりの考え方に基づく河川整備についてであります。

多自然川づくりは、河川が本来有している生物の生息環境や多様な河川景観等を保全、創出することを目的に、河川管理を行っていくものであり

ます。

県当局におかれましては、洪水被害の防止、軽減を図り、県民の皆さんの安全・安心を確保することを前提に、多自然川づくりの考え方を視野に入れ、河川本来の営みを生かした河川整備について、さらなる研究、検討を進められるよう要望します。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 吉川 新教育警察常任委員長。

〔吉川 新教育警察常任委員長登壇〕

○教育警察常任委員長（吉川 新） 御報告申し上げます。

教育警察常任委員会に審査を付託されました議案第206号損害賠償の額の決定及び和解についてにつきましては、去る12月10日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査をいたしました結果、全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 栗野仁博総務地域連携常任委員長。

〔栗野仁博総務地域連携常任委員長登壇〕

○総務地域連携常任委員長（栗野仁博） 御報告申し上げます。

総務地域連携常任委員会に審査を付託されました議案第174号職員の配偶者同行休業に関する条例案外2件につきましては、去る12月10日及び12日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 稲垣昭義予算決算常任委員長。

〔稲垣昭義予算決算常任委員長登壇〕

○予算決算常任委員長（稲垣昭義） 御報告申し上げます。

予算決算常任委員会に審査を付託されました議案第158号平成26年度三重県一般会計補正予算（第5号）外27件並びに議提議案第4号三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案に

つきましては、去る12月9日から12日に該当の分科会で詳細な審査を行った後、12月17日に本委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、議案第159号から議案第173号まで、議案第175号、議案第183号から議案第187号まで及び議案第191号から議案第194号までの25件については全会一致をもって原案を可決、議案第158号、議案第182号及び議案第205号並びに議提議案第4号の4件については賛成多数をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 以上で委員長報告を終わります。

討 論

○議長（永田正巳） これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、発言を許します。10番 中西 勇議員。

〔10番 中西 勇議員登壇〕

○10番（中西 勇） おはようございます。

松阪市選出の無所属、新しい翼会派の中西です。

議長の許可をいただきましたので、議案第158号、議案第182号、議案第205号、議提議案第4号について、簡潔に反対の立場として討論させていただきます。

内容は、人事委員会勧告に伴い期末手当等を引き上げるということに関する議案に対して反対するものです。

内容は、議員の場合、アップ率0.15月分と加算分1.2倍するもので、議員1人当たり約15万円余りが上がります。全議員51名として合計すると、750万円余りアップするわけです。

今、県の財政状況を考えても、また、三重県の景気の状態を考えても、常識的に、報酬を上げる、期末手当を上げると普通に言えることが信じられないわけです。

そして、知事はじめ特別職の皆さん、今、県の財政を考えれば当然据え置

くのが普通であり、知事の公約から言えば削減されても当たり前のことだと考えます。条例を改正して上げることは、全く私には理解できません。

そして、議員の皆さん、職員に倣って議員も上げるべきということは全くおかしなことで、理解できません。

議会先進県と言われている三重県議会は、今年度から議員報酬を戻しました。今年5月には議員定数の削減も先送りしました。その上で、今ここで期末手当を上げることに私は全く理解をできないわけです。

今、削減しているのは、政務活動費をわずか20%のみです。これも実に甘い削減率だと思います。

以上、4議案に反対の立場で討論させていただきました。皆さん、賛同をよろしくお願いします。

以上、終わります。ありがとうございました。

○議長（永田正巳） 以上で討論を終結いたします。

採 決

○議長（永田正巳） これより採決に入ります。

採決は2回に分け、起立により行います。

まず、議案第159号から議案第181号まで、議案第183号から議案第203号まで及び議案第206号の45件を一括して採決いたします。

本案に対する委員長の報告はいずれも可決であります。本案をいずれも委員長の報告どおり決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（永田正巳） 起立全員であります。よって、本案はいずれも委員長の報告どおり可決されました。

次に、議案第158号、議案第182号及び議案第205号並びに議提議案第4号の4件を一括して採決いたします。

本案に対する委員長の報告はいずれも可決であります。本案をいずれも委員長の報告どおり決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（永田正巳） 起立多数であります。よって、本案はいずれも委員長の報告どおり可決されました。

お諮りいたします。ただいまの議案第158号の可決に伴い、計数を整理する必要が生じたので、会議規則第35条の規定により、議案第158号に係る計数の整理を議長に委任されたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田正巳） 御異議なしと認めます。よって、計数の整理は議長に委任することに決定いたしました。

請 願 の 審 議

○議長（永田正巳） 日程第2、請願の件を議題といたします。

本件に関する関係常任委員会の審査の結果は、請願審査結果報告書のとおり、採択1件であります。

お諮りいたします。本件は議事進行上、委員長報告を省略し、直ちに採決したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田正巳） 御異議なしと認め、本件は委員長報告を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

採 決

○議長（永田正巳） これより採決に入ります。

請願第56号私学助成についてを起立により採決いたします。

本件を委員会の決定どおり採択することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（永田正巳） 起立全員であります。よって、本件は委員会の決定どおり採択することに決定いたしました。

なお、採択されました請願につきましては、お手元に配付のとおり、処理

経過及び結果の報告を求めることといたしましたので、御了承願います。

採択された請願で処理経過及び結果の報告を求めるもの
環境生活農林水産常任委員会関係
請願第56号 私学助成について

意見書案審議

○議長（永田正巳） 日程第3、意見書案第16号私学助成の充実を求める意見書案及び意見書案第17号障がい者雇用促進に向けた支援制度の拡充を求める意見書案を一括して議題といたします。

お諮りいたします。本件は議事進行上、いずれも趣旨説明並びに質疑を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田正巳） 御異議なしと認め、本件はいずれも趣旨説明並びに質疑を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

採 決

○議長（永田正巳） これより採決に入ります。

意見書案第16号及び意見書案第17号の2件を一括して起立により採決いたします。

本案をいずれも原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（永田正巳） 起立全員であります。よって、本案はいずれも原案のとおり可決されました。

常任委員長報告

○議長（永田正巳） 日程第4、常任委員会の調査事項に関する報告の件を議題といたします。

本件に関し、予算決算常任委員会から調査の経過等について報告したい旨の申し出がありますので、これを許します。稲垣昭義予算決算常任委員長。

〔稲垣昭義予算決算常任委員長登壇〕

○**予算決算常任委員長（稲垣昭義）** 予算決算常任委員会における平成27年度当初予算編成関係の調査の経過について御報告申し上げます。

平成27年度当初予算は、みえ県民力ビジョン・行動計画の最終年度として、県政の諸課題の解決を着実に推進し、県民の幸福実感という成果につなげるための予算となります。

予算編成は平成27年度三重県経営方針（案）を踏まえて行われますが、人口減少や複雑化、深刻化する危機への備えなど、社会情勢の変化に対応しつつ、限られた財源を的確に配分していく必要があります。

本委員会としては、7月の平成26年版成果レポートに係る調査に始まり、10月から11月には決算審査と同時に当初予算編成に向けての基本的な考え方について調査を行い、全員協議会での平成27年度当初予算調製方針等の調査とあわせて、議会の意見を来年度当初予算編成に反映させるため、議論を重ねてまいりました。

さらに、12月には、各部局の当初予算要求状況について、本委員会及び各分科会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に調査を行ってまいりました。

県財政の状況は、地方消費税をはじめとする税収の増加は一定見込めるものの、医療、介護等の自然増に伴う社会保障関係経費や過去の県債償還金の増に起因する公債費について大幅な増加が見込まれるなど、極めて深刻な状況であり、平成27年度当初予算編成における予算要求額と歳入見込み額との差額は、一般財源等ベースで220億円となっております。

県当局におかれては、従来の一律シーリングの見直しや重点化施策の設定など、過去2カ年で実施してきた新しい予算編成プロセスを円滑に運用し、事業の選択と集中をさらに進めるとともに、各政策の展開に当たっては、本委員会での意見や提案も踏まえつつ、指標における目標数値の達成に向けて、必達意識を持って取り組まれるよう要望します。

また、歳入面については、県債管理の適正化や県税徴収率の向上に引き続き取り組むとともに、確実かつ効率的な基金運用などの資金運用にも取り組み、財源確保に一層努められるよう要望します。

以下、当初予算要求状況に係る調査の過程において、本委員会で特に議論のありました主な事項について御報告申し上げます。

まず、当初予算要求状況調査に関しては、12月8日の総括的質疑において、人口の社会減対策、地籍調査の推進、中小企業、小規模企業の振興、観光戦略の推進、南部地域の活性化、獣害対策の推進、危険ドラッグの防止、貧困の連鎖解消、南海トラフ巨大地震防災・減災対策、スクールカウンセラーの充実、次期三重県教育ビジョン（仮称）の策定などについて活発な議論がなされ、当初予算編成に反映させるよう求めました。

次に、12月9日から12日に開催された各分科会で特に議論のありました事項について、各分科会委員長から報告がありましたので申し述べます。

地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業についてであります。

県では、電気自動車等を活用した低炭素なまちづくりを進めるため、伊勢市をモデル地域として、環境に優しい電気自動車等の普及啓発などの取組を進めていますが、この事業の取組状況や具体的な成果などが県民の皆さんに余り伝わっていない状況にあると思われまます。

今後、この事業で得られた成果をほかの市町にも展開して、さらなる電気自動車等の普及を図っていくためにも、速やかに県民の皆さんが効果を実感できる取組を実施されるとともに、これらの情報をより効果的に発信されるよう要望します。

以上、当初予算編成に係る調査の概要を述べました。

県当局におかれては、本委員会や各分科会での議論や意見を十分に踏まえた上で当初予算を編成されるよう要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（永田正巳） 以上で常任委員長の報告を終わります。

追 加 議 案 審 議

○議長（永田正巳） 日程第5、議案第207号を議題といたします。

提 案 説 明

○議長（永田正巳） 提出者の説明を求めます。鈴木英敬知事。

〔鈴木英敬知事登壇〕

○知事（鈴木英敬） ただいま上程されました議案第207号について御説明いたします。

この議案は人事関係議案であり、教育委員会委員の選任について議会の同意を得ようとするものです。

以上、簡単ではございますが、提案の説明といたします。

何とぞよろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（永田正巳） 以上で提出者の説明を終わります。

お諮りいたします。本件は人事案件につき、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田正巳） 御異議なしと認め、本件は質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

採 決

○議長（永田正巳） これより採決に入ります。

議案第207号を起立により採決いたします。

本案に同意することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（永田正巳） 起立全員であります。よって、本案は同意することに決定いたしました。

閉会中の継続審査・調査

○議長（永田正巳） 日程第6、閉会中の継続審査及び調査の件を議題といたします。

本件は、総務地域連携常任委員会ほか6常任委員会並びに議会運営委員会の各委員長から、お手元に配付の閉会中の継続審査・継続調査申出事件一覧表のとおり、それぞれ閉会中も継続してこれを行いたい旨の申し出がありました。

お諮りいたします。本件はいずれも申し出のとおり認めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田正巳） 御異議なしと認めます。よって、本件はいずれも申し出のとおり認めることに決定いたしました。

常任委員会閉会中 継続審査・継続調査 申出事件一覧表

総務地域連携常任委員会

- 1 行財政の運営について
- 1 地域振興の推進について
- 1 スポーツの振興について
- 1 県南部地域の活性化について

戦略企画雇用経済常任委員会

- 1 県政の総合企画調整について
- 1 雇用対策について
- 1 エネルギー政策について
- 1 産業振興（農林水産業を除く。）について
- 1 国際交流及び観光の振興について
- 1 会計管理、監査その他行政運営の適正確保について

環境生活農林水産常任委員会

- 1 生活文化行政の推進について
- 1 環境保全の推進について
- 1 廃棄物対策について
- 1 農業の振興対策について
- 1 林業の振興対策について
- 1 水産業の振興対策について

請願第47号 三重県残土条例制定を求める件について

健康福祉病院常任委員会

- 1 保健衛生行政の推進について
- 1 社会福祉及び社会保障の推進について
- 1 地域医療対策について
- 1 子ども及び青少年の育成について
- 1 病院事業の運営について

請願第54号 子ども医療費窓口無料化について

請願第55号 子ども医療費助成制度の対象年齢について

防災県土整備企業常任委員会

- 1 危機管理及び防災対策の推進について
- 1 公共土木施設の整備促進について
- 1 都市計画、住宅、下水道、その他土木行政の推進について
- 1 公営企業（病院事業を除く。）の運営について

教育警察常任委員会

- 1 学校教育の充実について
- 1 社会教育及び文化財保護行政の推進について
- 1 警察の組織及び運営について

予 算 決 算 常 任 委 員 会

1 予算、決算等県財政について

議会運営委員会閉会中 継続調査 申出事件一覧表

- 1 議会の運営に関する事項について
- 1 議会関係の条例及び規則等に関する事項について
- 1 議長の諮問に関する事項について

○議長（永田正巳） 以上で、今期定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。

閉 会

○議長（永田正巳） これをもって、平成26年三重県議会定例会を閉会いたします。

午前10時32分閉会

□閉会に当たり、永田正巳議長、鈴木英敬知事は、それぞれ次の挨拶を述べた。

○議長（永田正巳） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

去る1月17日に開会いたしました平成26年定例会は、337日間の会期を終え、本日ここに閉会の運びとなりました。

議員の皆様には、1年という長期間にわたり、提出されました諸議案をはじめ県政の諸課題について終始熱心に御審議を賜りますとともに、議会運営にも格別の御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

この1年間を振り返りますと、2月定例会月会議では、米穀の産地偽装の問題に伴い、議員提出条例である三重県食の安全・安心の確保に関する条例について所要の改正を行い、再発防止に備えるとともに、平成26年度当初予算

や三重県中小企業・小規模企業振興条例案などの審議を行いました。また、議会審議の一助とするため、タブレット端末等を本会議や委員会などへ持ち込むことができることといたしました。

5月会議では、約1年半にわたる選挙区調査特別委員会での議論の結果、選挙区及び定数の見直しを行う三重県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の改正を行いました。

6月定例会議では、豚流行性下痢（PED）の感染拡大を防ぐため、防疫体制整備に係る補正予算などの審議を行いました。

9月定例会議では、台風11号による被害状況について、関係常任委員会にて現地調査を行うとともに、災害応急対策の拠点となる施設における再生可能エネルギーの導入支援等に係る補正予算などの審議を行いました。

11月定例会議では、地域の医療や介護を総合的に確保するため、三重県地域医療介護総合確保基金条例案などについて審議を行いました。

当局におかれましては、審議の過程において議員各位から述べられました意見、要望等を十分尊重され、今後の県政運営に格段の努力をいただきますようお願いを申し上げます。

さて、本年5月の正副議長選挙において御推挙いただき、半年が経過しました。

この間、県民に開かれた議会を一層推進するため、広聴広報活動の新しい取組として、初めてとなるみえ高校生県議会を8月に開催し、県議会や県政に対する理解を深めていただくとともに、高校生の視点から貴重な御意見をいただきました。

11月には、みえ森と緑の県民税の導入を契機に、「森林づくりと森林を支える社会づくり」をテーマに尾鷲市でみえ現場で県議会を開催し、林業関係者などから様々な意見をいただきました。

また、議員の資質向上のため、10月に地方公会計について、12月に人口減少社会における子育て支援の取組からの地方創生について議員勉強会を開催し、知識の取得と議員間での共有化を図ってまいりました。

本日、平成26年定例会が閉会となりますが、明年1月19日からの定例会においても、二代表制の一翼を担う議会として、県民の負託に応えるべく、引き続き、住民本位の政策決定や、監視、評価、政策立案、政策提言などの議会機能の強化と充実に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

最後になりますが、寒さに向かう折から、議員各位並びに執行部の皆様には健康に十分御留意され、よい新年を迎えられますことをお祈り申し上げまして、閉会の御挨拶といたします。（拍手）

○知事（鈴木英敬） 閉会に当たりまして、私からも御挨拶申し上げます。

今定例会は、1月17日の開会以来本日まで、約1年の長期にわたり開催されましたが、その間、議員の皆様方には終始御熱心に御審議をいただき、提出の全議案を議了いただきましたことに感謝いたしますとともに、人事案件につきましても御同意をいただき、厚く御礼申し上げます。

今定例会を通じまして議員の皆様方からいただきました貴重な御提言や御意見等につきましては、これを十分尊重させていただくとともに、今後の県政の推進にさらなる努力をしてまいりますので、格別の御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、去る12月14日に衆議院議員総選挙が実施され、新たな内閣が発足することとなります。新内閣には、経済の回復や地方創生に全力を挙げていただくなど、国民の負託に的確に応えていただくことを期待します。

そのため、まずは速やかに経済対策を取りまとめていただくとともに、地方の予算編成作業に影響を及ぼさないよう、平成27年度予算を編成されることを望みます。

最後になりますが、議員の皆様方におかれましては、御健康に十分御留意の上、なお一層県政発展のため御活躍くださいますようお願い申し上げて、簡単ではございますが、閉会の御挨拶とさせていただきます。（拍手）

地方自治法第123条の規定により署名する

議 長 山 本 勝

副 議 長 前 田 剛 志

議 長 永 田 正 巳

副 議 長 奥 野 英 介

署名議員 津 村 衛

署名議員 森 野 真 治

署名議員 村 林 聡